

# 平成 25 年度あきたエコマネジメントシステム の取組結果について

環境管理事務局  
(生活環境部環境管理課)

## 1 はじめに

「あきたエコマネジメントシステム」では、県自らが行う事務・事業活動が環境に及ぼす影響を継続的に改善していくため、「秋田県庁環境方針」に掲げる 4 つの柱である「総合的な環境保全施策の推進」「事業活動における積極的な環境配慮の実施」「秋田県庁環境保全率先実行計画の推進」「環境関連法規等の順守」に基づき取組みを進めている。

<p>秋 田 県 庁 環 境 方 針</p> <p>秋田県庁は、自らが行う事務事業活動が環境に及ぼす影響を継続的に改善していくため、次の方針に基づき積極的に行動します。</p> <p>(1) 総合的な環境保全施策の推進</p> <p>「自然と人との共存可能な社会の構築」、「環境への負荷の少ない循環を基調とした社会の構築」、「地球環境保全への積極的な取組み」、「環境保全に向けての全ての主体の参加」を基本としながら、第 2 次秋田県環境基本計画に掲げる環境保全施策を推進します。</p> <p>(2) 事業活動における積極的な環境配慮の実施</p> <p>公共事業の実施において、公共事業環境配慮システムを基に、環境に配慮した事業を実施し、環境負荷の低減に努めます。</p> <p>(3) 秋田県庁環境保全率先実行計画の推進</p> <p>オフィス活動において、秋田県庁環境保全率先実行計画を基に、省エネルギー・省資源やグリーン購入を推進し、温室効果ガス排出量の削減など、環境負荷の低減に努めます。</p> <p>(4) 環境関連法規等の順守</p> <p>環境に関する法令、条例、協定、その他の合意事項を順守し、環境汚染の防止に努めます。</p>
--

## 2 適用組織 (平成 25 年度)

課 所 数
283

(注) 県立学校、警察署を含む。

### 3 主な取組内容及び結果

#### (1) 総合的な環境保全施策の推進

環境保全施策を推進するため、60の事業において環境目的・目標を設定しており、52の事業で目標を達成している。

環境目的の分類	施策数	目標達成数	目標未達成数
① 自然と人との共存可能な社会の構築	2	1	1(1)
② 環境への負荷の少ない循環を基調とした社会の構築	43	36	7(3)
③ 地球環境保全への積極的な取組み	7	7	0
④ 環境保全に向けての全ての主体の参加	8	8	0
合計	60	52	8(4)

※分類が複数ある場合は、主たる分類のものに計上した。

※( )は内数で、目標年度にまだ到達しておらず、目標が未達成のものである。

#### (2) 事業活動における積極的な環境配慮の実施(秋田県公共事業環境配慮システムの運用) 平成25年度の実施配慮率は98%で、12事業種中11事業種で目標を上回った。

○対象：県が実施する道路の整備事業など17事業種(21種類)のハード事業  
(計画・設計段階 500万円以上、施工段階 8千万円以上の事業)

- ・評価対象事業数 164件(前年85件)
- ・平均選択事項数 6.2事項(前年7.1事項、目標8事項以上)
- ・平成25年実施配慮率 98%(前年97%、目標配慮率：平成25年度から90%)
- ・秋田県公共事業環境配慮システム連絡調整会議の開催

#### (3) 秋田県庁環境保全率先実行計画の推進

##### ①CO<sub>2</sub>排出量の削減

○平成28年度までに、県の事務・事業の実施に伴うCO<sub>2</sub>排出量を5.5%削減することとしており、年度ごとに各エネルギー使用量の削減目標を設定し省エネルギーに取り組んでいる。

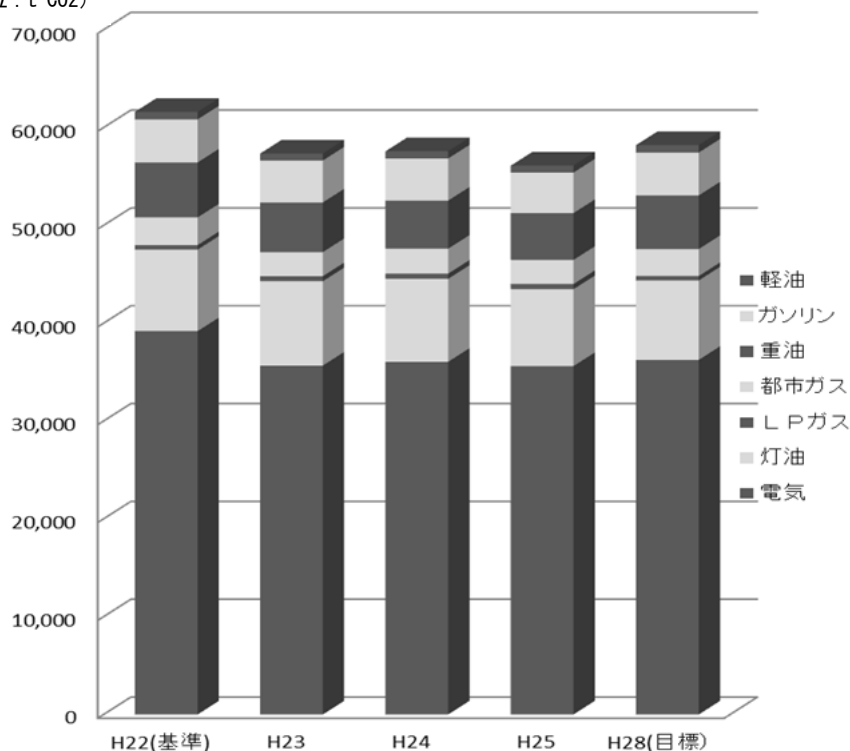
○平成25年度のCO<sub>2</sub>排出量は基準年度(平成22年度)に対し、8.7%の削減となった。

項目	基準年度 (H22年度) 実績	H25年度			CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> )換算			
		実績	基準年 との比較	削減 目標	H22年度	H25年度	基準年 との比較	
電気(kwh)	83,732,220	76,093,770	-9.1%	-3.0%	39,187	35,612	-9.1%	
燃料	灯油(ℓ)	3,346,063	3,201,216	-4.3%	-1.0%	17,243	15,753	-8.6%
	LPガス(kg)	154,348	177,265	+14.8%				
	都市ガス(m <sup>3</sup> )	1,266,740	1,102,600	-13.0%				
	重油(ℓ)	2,074,620	1,767,434	-14.8%				
公用車 等燃料	ガソリン(ℓ)	1,894,365	1,784,351	-5.8%	-0.2%	5,172	4,852	-6.2%
	軽油(ℓ)	299,049	274,381	-8.2%				
CO <sub>2</sub> 排出量(計)					61,602	56,217	-8.7%※	

※平成28年度削減目標 -5.5%

## 県庁全体のCO2排出量年度別推移

(単位：t-CO2)



	H22(基準)	H23	H24	H25	H28(目標)
軽油	773	715	738	709	769
ガソリン	4,399	4,284	4,302	4,143	4,377
重油	5,622	5,079	4,918	4,790	5,482
都市ガス	2,830	2,461	2,550	2,463	2,759
LPガス	463	513	534	532	451
灯油	8,328	8,621	8,474	7,968	8,120
電気	39,187	35,670	36,056	35,612	36,248
合計	61,602	57,344	57,572	56,217	58,206

### ②グリーン購入に係る取り組み

○紙類、文具類、○A機器等では調達目標を達成しているが、予算の縮減から低価格の非適合品を購入したこと等により目標に到達しない項目が多数あった。

項目	25年度		評価		項目	25年度		評価		
	調達目標	調達率	H25	H24		調達目標	調達率	H25	H24	
紙類	90%以上	情報用紙	98.2%	○	○	温水器等	90%以上	100.0%	○	○
		衛生用紙	99.2%	○	○	照明		81.2%	×	×
文具類	90%以上		92.9%	○	○	自動車等		48.5%	×	×
オフィス家具等			88.1%	×	×	制服・作業服		75.7%	×	×
○A機器			95.0%	○	○	インテリア・寝具		9.3%	×	×
移動電話			0.0%	×	○	作業手袋		48.4%	×	×
家電製品			94.6%	○	×	その他繊維製品		29.8%	×	×
エアコン・照明等			92.3%	○	×	納入印刷物		86.1%	×	○

※県立学校、警察署を含み、県外事務所を除く全ての県組織の実績。

③その他の取り組み

○水道使用量は削減が進んだが、可燃ごみ排出量及びコピー用紙購入量については、基準年と比較し増加した組織もあったため、削減目標に到達しなかった。

項目	基準年度 (H22年度) 実績	H25年度		
		実績	基準年 との比較	削減目標
水道 (m <sup>3</sup> )	553,326	465,557	-15.9%	-1.0%
可燃ごみ (kg)	1,225,843	1,265,930	+3.3%	-4.0%
コピー用紙 (枚)	123,903,919	137,504,653	+11.0%	-1.0%
うち 県立学校	51,455,578	62,028,250	+20.5%	/
うち 県立学校以外	72,448,341	75,476,403	+4.2%	

④金額ベースでの削減実績

○①と③の表に掲げる項目の使用量にそれぞれの経費単価を乗じて算出した経費から、次のとおり金額ベースでの削減実績を算出した。

H22 年度経費	H25 年度経費	削減実績 (H22 年度比)
2,708,041 千円	2,478,450 千円	△229,591 千円

※経費単価は平成 22 年度の単価を使用。

(4) 環境関連法規等の順守

内部監査の結果、72課所・433項目中、4課所・6件の不適合事項があり、是正を指示した。今後は重点チェック項目を明示するなどにより、不適合事項の根絶を図る。

適用法規名	項目数	不適 項目数	適用法規名	項目数	不適 項目数
廃棄物処理法	60	3	水質汚濁防止法	18	0
家電リサイクル法	1	0	電気事業法	51	0
消防法	94	0	浄化槽法	58	0
毒物及び劇物取締法	22	0	ダイオキシン類対策特別措置法	3	0
農薬取締法	7	0	水道法	3	0
PCB 特別措置法	15	0	公害防止条例	26	1
大気汚染防止法	59	0	その他関連法規等	16	2
合 計				433	6

(5) 職員の意識啓発等

- 職場での職員教育や内部監査員の養成研修の実施
- 節電・節減の徹底（昼休みの消灯、ノー残業デーの実施、エレベーターの稼働台数制限、公用車のエコドライブ、コピー機・プリンター使用の節減等）
- クールビズ・ウォームビズの実践 等